東日本大震災被災地応援ツアー 2020

ゲーデ・ピアノ三重奏団 コンサート

Gaede piano trio concert

ファミリーならではの絶妙なハーモニーをお楽しみください！

2020年2月27日（木） 18:00開場 18:30開演（20:15終演予定）

釜石市民ホール TETTO
KAMAISHI CIVIC HALL
ホールA（1階席のみ）

チケット

全席自由

一　般	1,000円（友の会 800円）当日 200円増
高校生以下	無　料

※未就学のお子様のご入場はご遠慮ください。
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

チケットの予約取り置きをご希望される方は、釜石市民ホール TETTO までお問合せください。

【取扱プレイガイド】
釜石：釜石市民ホール、東山堂釜石事業センター、イオンスーパーセンター釜石店
大槌：シーサイドタウンマスト　遠野：とぴあ　大船渡：サン・リア、リアスホール

プログラム

アレンスキー：ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品32
ショスタコーヴィチ：チェロソナタ ニ短調 作品40　ほか

※演奏者の希望により曲目を変更する場合がございます

お問合せ 釜石市民ホール TETTO［指定管理者：釜石まちづくり株式会社］
☎0193-22-2266 ✉info@tetto-kamaishi.jp

【主催】釜石市民ホール　NPO フレンドシップ・コンサート
【共催】釜石市　【後援】釜石新聞社　【協賛】ウェスティンホテル仙台
【協力】安斎隆　大中太郎

東日本大震災被災地応援ツアー 2020

ゲーデ・ピアノ三重奏団 コンサート Gaede piano trio concert

ゲーデ・ピアノ三重奏団について

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター、ダニエル・ゲーデは現在ニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にあり、また 2016 年 4 月よりベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のトップ奏者達で編成されるベルリン・バロック・ゾリステン音楽監督に就任した。またソリストとしての世界的活躍も目を見張るものがある。他方、室内楽奏者としてはゲーデ3兄弟によるゲーデ・トリオやチェロ奏者グスタフ・リヴィニウス（1990 年チャイコフスキー国際音楽コンクール優勝者）らと組んでのウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団、また 2011 年に設立したゲーデ弦楽四重奏団等活発に活動を続けている。また東日本大震災以降は毎年来日し被災地を訪問、90 回以上のボランティア演奏を行い、東北各地に心のこもった美しい音楽を届け続けている。今回の東日本大震災被災地応援ツアーでは、ピアニストであるスイシュー夫人と次男でチェロ奏者のフローリアン・ゲーデ（19 歳）を伴い、ゲーデ・ピアノ三重奏団（2014 年創立）として来日し、極めて珍しい「親子トリオ」の息の合った妙技を披露する。

ダニエル・ゲーデ　Daniel Gaede　ヴァイオリン

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前コンサートマスター。1966 年ドイツ、ハンブルクに生まれる。6歳よりヴァイオリンを始め 83 年ドイツ国内コンクール第1位及びカール・フレッシュ国際コンクール入賞。1986 年にはクラウディオ・アバドの主宰するヨーロッパ・ユースオーケストラのコンサートマスターに就任、1991 年より 94 年までベルリン芸術大学で教鞭をとり、2000 年以降はニュルンベルク音楽大学ヴァイオリン科主任教授の要職にある。1994 年から 2000 年までウィーン・フィルハーモニー管弦楽団及びウィーン国立歌劇場管弦楽団でコンサートマスターや、ベルリン・フィルの首席奏者で構成されたベルリン・バロック・ゾリステンの音楽監督を務めた。わが国では 2013 年から3年間読売日本交響楽団コンサートマスターとして活躍し、欧米やアジア諸国で演奏会出演も数多く、毎年、霧島国際音楽祭、軽井沢音楽祭等に招かれ後進の指導にもあたっている。室内楽奏者としてはゲーデ弦楽四重奏団、ウィーン・フーゴ・ヴォルフ三重奏団、ゲーデ・ピアノ四重奏団他、多彩なコンサート活動を続けている。また東日本大震災で被災した人々に寄り添いたいとの希望から、すでに兄弟、妻、息子、友人たちと毎年東北を訪問し学校、病院、地域センター等で 90 回以上のボランティア・コンサートを行っている。

スイシュー・ゲーデ　Xuesu Gaede　ピアノ

ダニエル・ゲーデ夫人のスイシュー・ゲーデは中華人民共和国の古都西安の音楽一家に生まれる。1978 年より 1984 年まで北京中央音楽院に学び 1987 年よりベルリン芸術大学でクラウス・ヘルヴィグ教授の指導を受ける。ソリストとしてベルリン・フィルハーモニー・ホールでデビューの後、ヨーロッパ、アメリカ及びアジアの国々で多くのコンサートに出演し、北京国際音楽祭、アレグロ・ヴィーヴォ、アジア音楽祭等に招かれ演奏する。室内楽奏者としてもベルリン・フィルやウィーン・フィルのメンバーと共演、夫であるダニエル・ゲーデとはチェロ奏者ユリウス・ベルガーを加えてピアノ・トリオ「トリオ・セシール」を創設し活躍している。

フローリアン・ゲーデ　Florian Gaede　チェロ

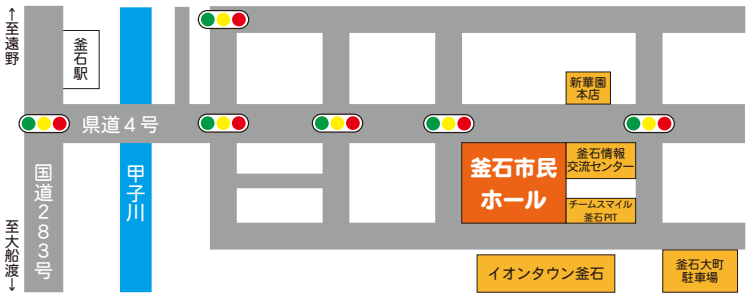
2000 年ウィーンにゲーデ家の次男として生まれる。6歳の時ニュルンベルクで著名なチェロ奏者ハイケ・ブンドリングにチェロを習う。12 歳から4年間ミュンヘンでクレメンツ・ヴァイゲルの指導を受けた後、2016 年 5 月からヘルマー・シュタイラー教授に個人指導を受ける傍ら、同年 10 月にはヴュルツブルク音楽大学のシュティーラー教授のクラスに入る。2008 年、2009 年、2010 年及び 2012 年にはババリアの「若い音楽家」コンクールで優勝を重ね、2012年にはニュルンベルク銀行の奨学金を獲得した。また、2013年にはドイツ国内コンクールで2位になった。また兄のフィリップ・ゲーデとともに「カレル・クンク二重奏コンクール」で優勝した。2014 年以来フローリアン・ゲーデは父親のダニエル・ゲーデ及び母親のスイシュー・ゲーデとともに「ゲーデ・ピアノ三重奏団」に所属し、ベルリン等で演奏会に出演している。フローリアン・ゲーデは 2011 年にパリのステファン・フォン・ベールによって製作されたチェロを使用している。2017 年以来すでに3回の東日本大震災被災地応援ツアーに参加し、30 回以上のボランティア・コンサートで演奏している。2019 年春からドイツ、ベルリンの名門であるハンス・アイスラー音楽大学に入学し研鑽を積んでいる。

釜石大町駐車場サービス券案内

「本公演チケット」と「市営大町駐車場駐車券を、公演当日 TETTO 総合案内へ提示すると、釜石大町駐車場 1 時間サービス券 2 枚（200 円相当）を進呈いたします。ぜひご利用ください。

終演後公共交通機関時刻案内（R2.1.1 現在）

●列車（釜石駅）　三陸鉄道リアス線　盛行き 21:04 発
●路線バス（釜石中央・市民ホール前）　岩手県交通 上大畑行き 20:46 発
気象・交通状況により時刻が前後する場合があります。
詳しい時刻および運行状況は各運行会社にお問合せください。

釜石市民ホールへのアクセス

●列車の場合
JR 釜石線釜石駅または三陸鉄道リアス線釜石駅で下車し徒歩 10 分
●バスの場合
岩手県交通バス停「市民ホール前」または「釜石中央」で下車
●車の場合
【宮古方面】三陸沿岸道路釜石両石 IC から約 10 分
【遠野・大船渡方面】三陸沿岸道路釜石中央 IC より約 10 分
釜石大町駐車場（30 分まで無料。1 時間まで 100 円。1 時間毎に 100 円増、24 時間最大 800 円）または周辺の駐車場をご利用下さい。